まちを愛し、まちを元気に

ナバリスト 13

オリジナルの防犯折り紙

田中 裕人 さん　赤目警察官駐在所 警部補

たなか・ひろと ● 松阪市出身。三児の父。2023年3月に名張に着任し、駐在所勤務は3カ所目。趣味のピアノや大学で学んだ健康運動などの知識を生かして、地域の防犯活動に取り組んでいる。地域の集まりや獅子舞に誘われるなど、一住民としても地域住民に慕われている。

家族で地域に住み込み、業務にあたっている（写真は妻の綾子さん、次女と）

歌いながら防犯意識を高める体操の作曲・振付は田中さん自ら行った

歌による防犯啓発に活用しようと、地域のカフェで趣味のピアノを練習

目指すは、アンパンマンみたいな駐在さん！

防犯の歌に合わせて体操をしたり、詐欺の事例を夫婦で寸劇したり。自分たちで作って家に持ち帰れる防犯カレンダーや防犯折り紙も考案しました。体験を伴うと、より記憶に残るんです。「駐在さんのおかげで詐欺に気づけた」という人もいて、俄然やる気も湧いてきます。だから、「もっと楽しみながら防犯意識を高めてもらえる工夫はないか」といつも頭がいっぱい。今は、地域の皆さんと一緒に寸劇できる〝新ネタ〟を考案中です。詐欺の手口はどんどん変わっていくので、常に啓発内容を更新していく必要があるんですよね。

駐在として赴任してきてから、赤目地域の皆さんが「今度これやるからおいで！」とイベントなどに誘ってくれるので、すぐ地域に馴染めました。こんなフレンドリーな地域は初めてですね。着任した場所は、私にとって第二の故郷。誘われて始めた獅子舞も楽しくて、もし他の地域へ異動しても、祭りの時期には帰ってきたいです。

私が目指す「アンパンマン」は、まさに駐在の鏡。まちのイベントには仲間と一緒に参加するし、困っている人がいたら絶対に助ける。それに、「バイキンマン」が悪さをすれば前に出て戦いますが、住民たちが「アンパンマン」を支えているんですよね。私も一人の力では犯罪をなくせません。妻と二人三脚で24時間、地域に密着しながら、皆さんと力を合わせられる駐在さんを目指し続けます。

編集後記

777年目となる調進行事。近鉄の同行ツアーに参加し、私はカメラを構え、息子は松明を担がせていただきました。名張に誇りを感じる貴重な機会。若い人たちにもっと知ってもらえれば（たか）

なばりじまんの取材。小さい頃、近所に来たやまなみ号を利用していたことを思い出し懐かしい気持ちに。何十年と走り続け年季が入った車体に新刊や人気作を載せて、あなたの地域に向かいます（くま）

最近、知らない電話番号からよく電話がかかってきます。電話を切ってネットで検索すると、詐欺とのこと。詐欺師の話術に勝てる自信がないので、私は電話に出ない対策一択です！（はる）

大阪で開催した名張物産観光展へ同行。立ち寄った人の中には名張を知っている人がちらほら。万博に向けてもっと名張を知ってもらえるよう魅力を発信していきます（こう）

なばりのひと・活動

令和7年4月14日発行
広報なばり
● 人口　74,087人（前月比－67人）● 世帯数　34,958世帯（前月比＋8世帯）※3/1現在
発行／名張市 なばりの未来創造部 広報シティプロモーション推進室　〒518-0492 名張市鴻之台1-1
☎0595-63-7402　FAX 0595-63-2560　pr@city.nabari.lg.jp
市HP